

報道関係者 各位

令和3年12月28日

【照会先】

秋田労働局労働基準部 健康安全課
課長 佐藤 存
産業安全専門官 田川 健志
(電話)018-862-6683

転倒災害防止キャンペーン「転倒災害防止大作戦」特設サイトを開設

秋田労働局（局長 川口秀人）は、職場における転倒災害を減少させるため、下記の転倒災害防止キャンペーンの実施に伴い特設サイトを開設いたしました。

秋田労働局では、従来から職場における転倒災害防止対策について、毎年重点事項を示してその予防対策に取り組んできたところです。さらに、平成24年からは「転倒災害防止プロジェクトチーム」を設置し、事業者団体や各労働災害防止団体と連携して転倒災害防止対策を推進しており、今年度は令和3年12月から令和4年2月までの期間を転倒災害防止キャンペーン「転倒災害防止大作戦！！～冬期間は『見える化』実施で転ばない職場の実現を～」と設定し、注意表示、融雪剤の設置、照度の確保など「見える化」による転ばない職場の実現を目指す取組や転倒事故事例から見た6つの危険ポイントの周知とその防止対策への取組等事業場における転倒災害防止の各種対策を推進しているところです。

このキャンペーンの実施に伴い、秋田労働局ホームページ内に「転倒災害防止キャンペーン『転倒災害防止大作戦』の特設サイト」を開設し、職場における転倒災害防止対策事例や、労働者に対する安全衛生教育用の資料等を掲載してより一層の周知を図ることといたしました。

このサイトでは、キャンペーンの取組内容と併せ、秋田労働局で作成しているポスター、壁新聞のデータ、厚生労働省で作成している関係リーフレットや転倒災害防止対策事例を掲載した専用サイトへのリンク、さらには、秋田労働局管内で発生した転倒災害に関する統計資料等を掲載しています。

報道機関の皆様には、転倒災害防止に向けた取組について、関係者をはじめ県民に広く浸透するよう、取材・報道をお願いします。

◎特設サイトの特徴

1. 秋田労働局ホームページ、トップページの注目情報として、特設サイトの案内を掲載し、ワンクリックで特設サイトに移動できるようになっております。併せて、秋田労働局で通年実施している転倒災害防止対策「STOP!転倒災害プロジェクト」のサイトにもリンクを貼って閲覧できるようになっております。また、当局において作成しているポスターや壁新聞については、各事業場においてデータをダウンロードすることによりA3で印刷するとミニポスターとして活用できるようになっております。
2. 特設サイト内では、キャンペーン期間中に実施してほしい転倒防止対策内容や転倒災害に関する危険ポイントを紹介し、各種資料がダウンロードできるようになっております。

3. 転倒災害防止対策「STOP!転倒災害プロジェクト」サイトでは、閲覧者が分かりやすいよう、秋田労働局作成の資料ページ、厚生労働省作成の資料ページ、転倒災害に特掲した統計資料のページ及び、転倒災害防止に関係するプレスリリースのページからなる、4 項目の分類で閲覧できるようになっております。
4. 秋田労働局作成の資料としては、令和元年から毎年、ポスターや壁新聞を作成しており、当年分のほか、過去に作成した資料も掲載し、かつ、ダウンロードできるようになっております。
5. 転倒災害関係統計資料では、
 - ① 年別発生推移（平成 25 年～令和 2 年）
 - ② 年別、月別発生件数（平成 27 年～令和 2 年）
 - ③ 令和 2 年度（令和 2 年 12 月～3 月）月別、原因別件数及び、発生場所別件数
 - ④ // （令和 2 年 12 月～3 月）発生時間帯別発生件数
 - ⑤ 令和 2 年 年齢別被災状況
 - ⑥ // 休業期間別発生状況
 - ⑦ // 男女別被災状況
 - ⑧ // 傷病性質別被災状況
 - ⑨ // 傷病部位別被災状況
 - ⑩ 平成 25 年～令和 2 年 事故の型（転倒）・業種別発生状況を掲載しており、冬季特有の転倒災害における統計資料をダウンロードすることで、事業場における安全衛生委員会での討議資料や、労働者への安全衛生教育資料として活用できるようグラフ化して見やすい資料となっております。

全ての事業場の皆様へ

令和3年12月～
令和4年2月

転倒災害防止大作戦!!

～冬期間は「見える化」実施で転ばない職場の実現を～

会社の中で転びやすい場所 ワースト3



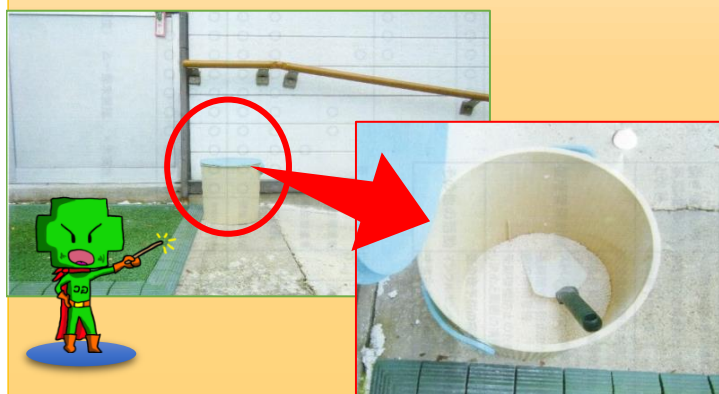
作戦① 出入口に注意表示の「見える化」設置で転倒災害防止!



作戦② 転倒事故の多発する駐車場にも「見える化」で注意表示を



作戦③ 駐車場や凍結しやすい通路に融雪剤を設置して凍結防止!



作戦④ 冬期間は早く暗くなります。センサーライトの設置で明るさ確保!



①～④の転倒防止対策を事業場内で検討し、出来る対策から積極的に取り組みましょう。

作業場所に適した注意表示の設置を行いましょう

転倒注意



屋外に出るとき
履物交換

転倒注意



この先
傾斜あり

転倒注意



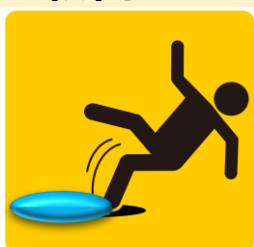
この先
段差あり

転倒注意



凍結のおそれあり

転倒注意



ぬれた床
滑りやすい

転倒注意



足元注意

★転倒事故事例から見た6つの危険ポイント★

1. 屋外に出るときには作業に適した履物を着用しましょう。
2. 重機での除雪後は路面がツルツル。慎重な歩行を。
3. 歩行環境が変化する建物内から屋外へ出るときは要注意。
4. 放射冷却が発生した朝は凍結箇所が多くなっています。
5. 出勤時の車から降りた直後に転倒事故が多発しています。
6. 出入口は同じ場所が踏み固められ凍結部分が発生します。

転倒災害防止キャンペーン 【期間：令和3年12月～令和4年2月】 冬期間における「転倒災害防止大作戦」を展開します。

冬期間における転倒災害防止対策の実施をお願いします。

秋田県内における令和2年の職場における転倒災害による休業4日以上を負傷者数は281人となっており、過去の推移をみても増減を繰り返しながらも増加傾向にあります。

全産業の労働災害のうち、転倒災害に占める割合は25.9%と、4人に1人が職場において転倒により負傷しています。

その発生状況を見ると、毎年12月から翌2月の冬期間に転倒災害が多発しており、特に屋外の積雪や凍結箇所が多く発生しております。

各労働基準監督署に報告された労働者死傷病報告によると、冬期間における季節的な要因はあるものの、事業場での転倒災害防止に関する管理方法と、労働者による不安全行動を抑えることにより、転倒による労働災害を防げる負傷であることも確認されております。

このようなことから、冬期間における転倒災害防止対策を推進するため

《 転倒災害防止大作戦 ～冬期間は『見える化』実施で転ばない職場の実現を～ 》

と題して、令和3年12月～令和4年2月を期間としたキャンペーンを展開しており、関係団体への要請や、各労働基準監督署において実施する講習会や各種指導を行う機会に、事業者に対して転倒災害防止対策実施に向けた指導及び周知を行っております。

▼事業場における転倒防止対策

作戦①『出入り口に注意表示の「見える化」設置で転倒災害防止』

作戦②『転倒事故の多発する駐車場にも「見える化」で注意表示を』

作戦③『駐車場や凍結しやすい通路に融雪剤を設置して凍結防止』

作戦④『冬期間は早く暗くなります。センサーライトの設置で明るさ確保』

▼転倒事事故事例から見た6つの危険ポイント

1. 屋外に出るときには作業に適した履物を着用しましょう。
2. 重機での除雪後は路面がツルツル。慎重な歩行を。
3. 歩行環境が変化する建物内から屋外へ出るときは要注意。
4. 放射冷却が発生した朝は凍結箇所が多くなっています。
5. 出勤時の車から降りた直後に転倒事故が多発しています。
6. 出入口は同じ場所が踏み固められ凍結部分が発生します。



キャンペーンリーフレット



令和3年版 転倒防止ポスター



令和3年版 転倒防止壁新聞

転倒災害防止対策 「STOP!転倒災害プロジェクト」



STOP! 転倒災害プロジェクト

秋田労働局・各労働基準監督署では、休業 4 日以上死傷災害において事故の型の内、最も件数が多い「転倒災害」を減少させるため、平成 24 年 4 月に立ち上げた『転倒災害防止プロジェクトチーム』において取り決めた各種活動の実施により転倒災害の撲滅に取り組むとともに、厚生労働省と労働災害防止団体による『STOP! 転倒災害プロジェクト』を推進しています。

事業者の皆さまには、上記の厚生労働省の特設サイトや当局版リーフレット・ポスターの活用等により、職場の転倒災害防止対策を進めていただくとともに、プロジェクトの重点取組期間（2 月、6 月）にチェックリストを活用した総点検を行い、職場環境の改善を図っていただくようお願いします。

**ポスター・壁新聞
（秋田労働局作成）**

▶詳細はこちら

**リーフレット・資料等
（厚生労働省作成）**

▶詳細はこちら

**転倒災害関係
統計資料**

▶詳細はこちら

プレスリリース

▶詳細はこちら

お知らせ

- 転倒災害防止大作戦資料を掲載いたしました。（2021 年 11 月）
- ポスター・「STOP! 転倒災害」を掲載しました。（2021 年 10 月）
- 壁新聞・「転倒防止新聞」を掲載しました。（2021 年 10 月）
- リーフレット・「3 つの転倒予防」 を掲載しました。（2021 年 2 月）

ポスター・壁新聞 (秋田労働局作成)

▶詳細はこちら。

↑ここをクリックしたときの表示内容

ポスター・壁新聞・リーフレット（秋田労働局版）

- ◆ 転倒災害防止 ポスター（令和元年作成版）
- ◆ 転倒災害防止 ポスター（令和3年作成版）
- ◆ 転倒災害防止 壁新聞（令和元年版）
- ◆ 転倒災害防止 壁新聞（令和2年版）
- ◆ 転倒災害防止 壁新聞（令和3年版）
- ◆ 転倒災害防止 リーフレット（令和3年度作成版）

※ 下線部をクリックすると PDF データが表示されます。ダウンロードして A 3 版のポスターとしてご利用できます。

令和3年版

【秋田労働局版ポスター】



【秋田労働局版壁新聞】



【秋田労働局版リーフレット】



令和2年版

【秋田労働局版ポスター】



【秋田労働局版壁新聞】



令和元年版

【秋田労働局版ポスター】



【秋田労働局版壁新聞】



リーフレット・資料 (厚生労働省作成)

▶詳細はこちら。

↑ここをクリックしたときの表示内容

各種リーフレット・資料（厚生労働省版）

◆「STOP！転倒災害プロジェクト」特設サイト（厚生労働省リンク）

【リーフレット】

- ◆ STOP!転倒災害 3つの転倒予防
- ◆ 転倒災害防止のためのチェックリスト
- ◆ 転倒予防のために適切な「靴」を選びましょう
- ◆ 各事業者用 転倒災害防止資料（全業種、小売業、社会福祉施設）

【STOP!転倒災害 3つの転倒予防】

STOP! 転倒災害

3つの転倒予防

転倒による労働災害は最も多く、全体の約**25%**
転倒によるケガの約**6割**が休業**1か月以上**のケガです!!

1 作業場所の整理整頓 2 作業場所の清掃 3 毎日の運動

▶ 転倒災害は、大きく3種類に分けられます。
皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？

厚生労働省では「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。
具体的な対策はこちらをチェック!

【転倒災害防止のためのチェックリスト】

あなたの職場は大丈夫？
転倒の危険をチェックしてみましょう!

チェック項目	
1 通路、階段、出口に物を放置していませんか	☐
2 床の水たまりや水、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	☐
3 通路や階段を安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	☐
4 靴は、すべりにくくくちくち良いサイズのものを選んでいますか	☐
5 転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	☐
6 段差のある箇所や滑りやすい場所などに、注意を促す標識をつけていますか	☐
7 ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	☐
8 ストレッチや転倒予防のための運動を取り入れていますか	☐
9 転倒を予防するための教育を行っていますか	☐

チェックの結果は、いかがでしたか？
問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合ってみよう!

【適切な「靴」を選びましょう】

職場での転倒にご注意ください!
転倒予防のために適切な「靴」を選びましょう

サイズ
靴と足はフィットしていませんか？
足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります。

柔軟性
踵から小指の付け根を曲線に曲げられますか？
靴の柔軟性が悪いと、疲労の蓄積、すり足になりやすく、つまずきの原因となります。

重量/バランス
靴の前後の重さのバランスはとれていますか？
靴の重さがつま先部に偏っていると、歩行時につま先が上がりやすく、つまずきやすくなります。

靴底の減り具合
靴底がすり減っていませんか？
靴底の減りが大きい靴は、滑りやすくなります。

防滑性の有無
靴底の溝にくさきを確認していますか？
防滑性を有する靴は、以下の図で確認できます。

安全靴の場合
安全靴のJISマーク（JIS S2001）の表示があるか確認してください。

その他の性能
● 静電気防止性能
静電気を帯びた靴は、可燃物の近くで火花を飛ばす危険があります。
● 電圧感知機能
電圧感知機能付きの靴は、電圧感知時に音や振動で知らせる機能があります。

STOP! 転倒災害プロジェクト
厚生労働省と労働安全衛生法に基づき、労働現場の安全を確保するための取り組みです。
厚生労働省では「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。

【全事業者用】

事業主の皆さまへ
安全・安心な職場づくりに取り組みましょう

職場における労働災害（年間125,115件）

転倒 全体の**25%**

転倒 30,929件
足踏・転落 20,977件
交通事象（道路） 6863件
はさまれ・巻き込まれ 13,602件
歩道の反動・無理な動作 19,121件

職場での転倒災害の状況

労働災害のうち転倒 **25%**
休業1か月以上 **約6割**
女性 **約6割**
50代以上 **約7割**

安全・安心な職場づくりのために、職場の対策に取り組みましょう

【小売事業者用】

小売事業主の皆さまへ
人材確保のためにも安全・安心な施設づくりに取り組みましょう

小売業における労働災害（年間15341件）

転倒 全体の**34%**

転倒 5286件
動作の反動・無理な動作 2388件
足踏・転落 1698件
はさまれ・巻き込まれ 899件
切れ・こすれ 1107件

転倒リスクがある場所

例えば食品スーパーの転倒災害状況

労働災害のうち転倒 **約4割**
休業1か月以上 **約6割**
女性 **約9割**
50代以上 **約8割**

安全・安心な施設づくりのために、職場の対策に取り組みましょう

【社会福祉施設用】

介護事業主の皆さまへ
人材確保のためにも転倒・腰痛のない施設をつくりましょう

介護事業で働く労働者の課題

- 介護労働者の不満などで**身体的負担が大きい**と答えた方は**29.5%**
- 介護労働者の満足度を重視する企業ほど**人材確保ができている**との統計結果もあります

人手が足りない
仕事内容の割に賃金が低い
身体的負担が大きい

介護事業における労働災害

- 介護労働者を含む社会福祉施設の労働災害は腰痛などの「動作の反動・無理な動作」が**41%**、次いで転倒が**39%**
- 腰痛などは介護作業で発生した者が**84%**
- 休業1か月以上となる者は、転倒で**64%**、腰痛などの「動作の反動・無理な動作」で**43%**

転倒・腰痛のない施設をつくるために、職場の対策に取り組みましょう

※ 下線部をクリックするとPDFデータが確認できます。適宜ダウンロードしてご使用下さい。

転倒災害関係 統計資料

▶詳細はこちら。

↑ここをクリックしたときの表示内容

転倒災害関係統計資料

秋田労働局管内で発生した、転倒災害による各種労働災害統計です。
資料内の死傷者数は、県内各労働基準監督署に提出された、労働者死傷病報告
(休業4日以上)を集計した結果です。

転倒災害 災害発生状況の推移

- ▶ [転倒災害発生推移（平成25年～令和2年）](#)

転倒災害 月別発生状況

- ▶ [転倒災害月別発生状況（H27～R2）](#)
- ▶ [令和2年度 月別発生状況及び発生場所別の内訳](#)

転倒災害 時間帯別発生状況

- ▶ [転倒災害発生時間帯別統計](#)
 - ・雪・凍結による転倒災害の発生時間帯別統計（令和2年12月～3年3月）
 - ・全ての転倒災害の発生時間帯別統計（令和2年4月～令和3年3月）

転倒災害 各種統計グラフ

- ▶ [令和2年 各種転倒災害グラフ一覧](#)
 - ・（年齢別・休業期間別・男女別・傷病性質別・傷病部位別）

転倒災害 事故の型別・業種別発生状況

- ▶ [事故の型（転倒災害）・業種別発生状況（令和2年～平成25年）](#)

※ 資料は全て令和3年10月末現在のもの。

※ 下線部をクリックするとPDFデータが確認できます。適宜ダウンロードしてご使用下さい。

プレスリリース資料

◆ 令和3年11月30日 プレスリリース内容

The screenshot shows the official website of the Aomori Prefecture Labor Office. The main headline is '転倒災害防止キャンペーン「転倒災害防止大作戦」の実施について' (About the Implementation of the Fall Prevention Campaign 'Fall Prevention Big Battle'). The release date is November 30, 2021 (Tuesday). The press officer is Kenji Sato, Director of the Aomori Prefecture Labor Office. The text describes the campaign's goals, which include reducing workplace fall accidents by 25.9% and increasing safety awareness. It also lists the campaign's duration (from December 1, 2021, to February 28, 2022) and the locations where it will be implemented, including various workplaces and public facilities. The website also features a sidebar with navigation links and a contact information section.

令和3年11月30日（火）

【関係先】
秋田労働局
労働基準部健康安全課

課長：佐藤 存
産業安全専門官：田川 健志
電話番号：018-862-6683

秋田労働局（局長 川口秀人）は、職場における転倒災害を減少させるため、下記により転倒災害防止キャンペーンを実施します。

秋田労働局では、従来から職場における転倒災害防止対策について、毎年重点事項を示してその予防対策に取り組んできたところである。さらに、平成24年からは「転倒災害防止プロジェクトチーム」を設置し、各労働災害防止団体と連携して転倒災害防止対策を推進してきた。

しかし、秋田県内における令和2年の職場における転倒災害による休業4日以上の負傷者数は281人となっており、過去の推移をみても増減を繰り返しながらも増加傾向にあります。

全産業の労働災害のうち、転倒災害に占める割合は25.9%と、4人に1人が職場において転倒により負傷している状況にあります（別添、資料1）。

その発生状況を見ると、毎年12月から翌2月の冬季節に転倒災害が多発しており、特に屋外の積雪や凍結箇所が多く発生しております。

各労働基準監督署に報告された労働者死傷病報告によると、冬季節における季節的な要因はあるものの、事業場での転倒災害防止に関する管理方法と、労働者による不安全行動を抑えることにより、転倒による労働災害を防げる負傷者も少なくありません。

このようなことから、秋田労働局（局長、川口秀人）では、冬季節における転倒災害防止対策を推進するため、資料2による「転倒災害防止大作戦～冬季節は「見える化」実施で転ばない職場の実現～」と題したキャンペーンを展開し、関係団体への要請や、各労働基準監督署において実施する講習会や各種指導を行う機会に、事業者に対して転倒災害防止対策実施に向けた指導及び周知を行うこととしています。

報道機関の皆様には、転倒災害防止に向けた取り組みについて、関係者をはじめ県民に広く周知するよう、取材・報道をお願いします。

I 関係団体に対して行う要請の概要
◀別添、要請概要のとおり▶

II キャンペーン期間と期間中に実施すべき事項

1. 期間：令和3年12月1日～令和4年2月28日
2. 実施すべき事項
 - ① 事業場出入口に注意表示の「見える化」設置で転倒災害防止！
 - ② 転倒事故の多発する駐車場にも「見える化」で注意表示！
 - ③ 駐車場や通路しやすい通路に転倒防止を設置して凍結防止！
 - ④ 冬季節は早く暗くなるため、センサーライトの設置で明るさ確保！
 - ⑤ 作業場所に適した注意表示の設置を行いますよう
 - ⑥ 転倒事故事例から見た6つの危険ポイントを確認しましょう

III その他の実施事項

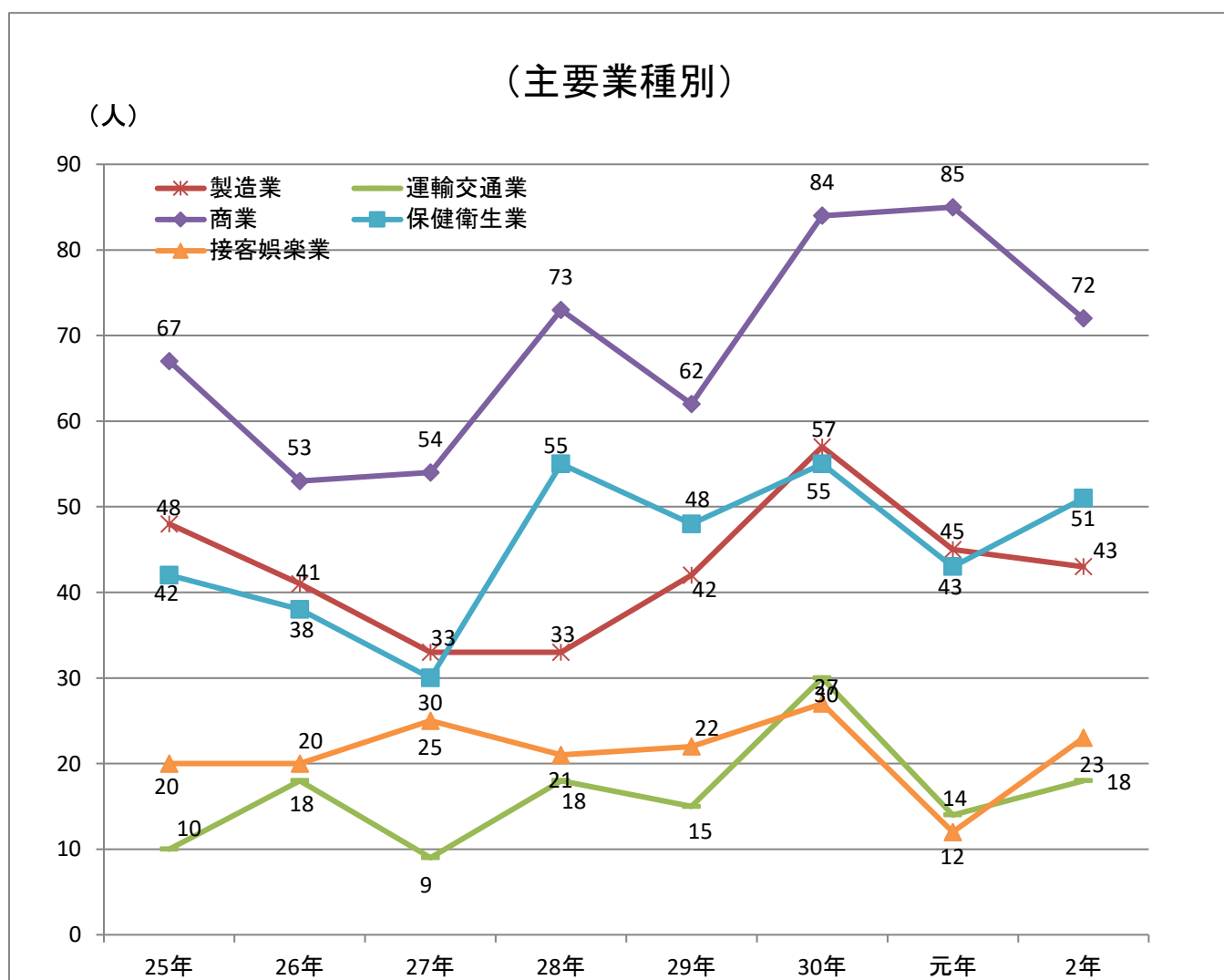
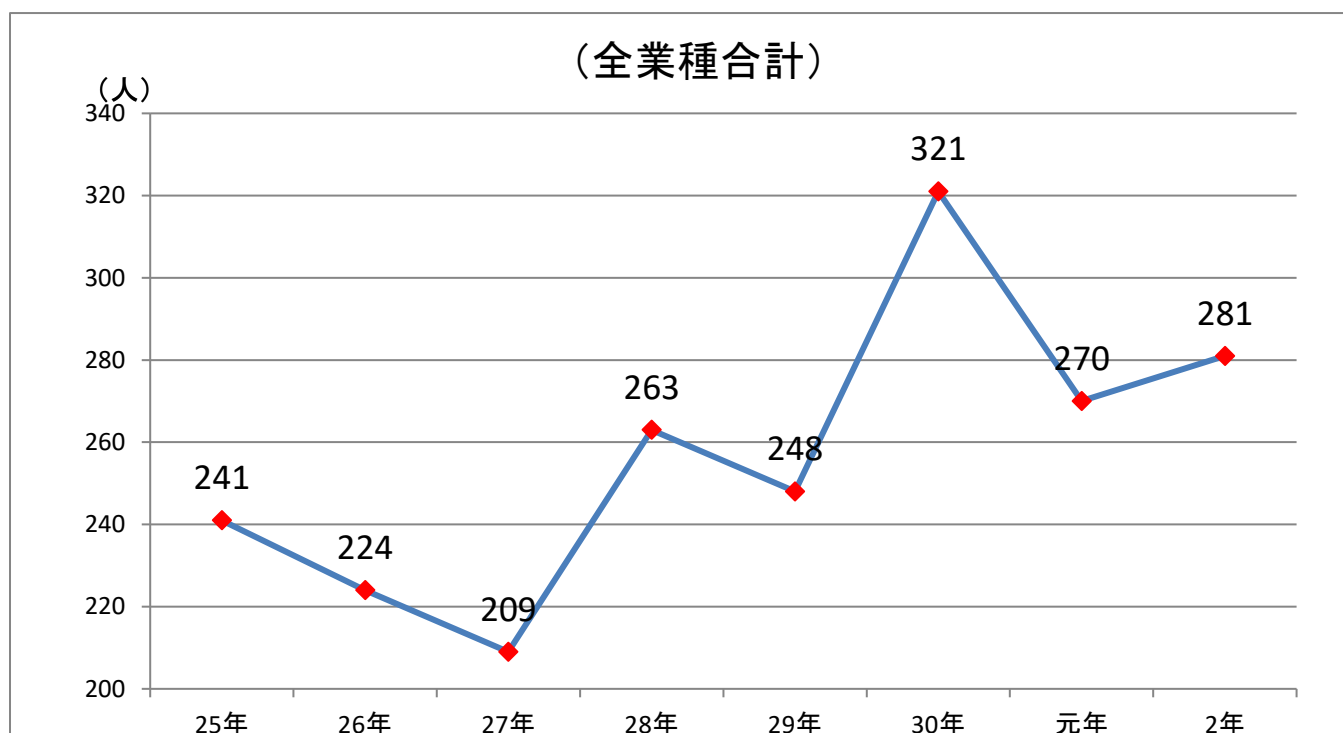
1. 秋田労働局作成による転倒災害防止ポスター（資料3）及び転倒災害防止壁新聞（資料4）を県内の商工会・商工会議所、食品スーパー・ホームセンター及び家電量販店等の多店舗業関連企業、飲食店、ホテル旅館、社会福祉施設、社会福祉協議会、靴販売店に対して掲示依頼（1,609箇所）
2. 県内各市町村作成の広報誌への「転倒災害防止」に関する記事の掲載依頼（県内全10市町村）
3. 秋田労働局ホームページに上記取り組みの掲載
4. 令和3年12月から令和4年2月までに、各労働基準監督署で実施する講習会、各種指導時にキャンペーン資料により転倒災害防止対策に対する指導

IV 要請先関係団体

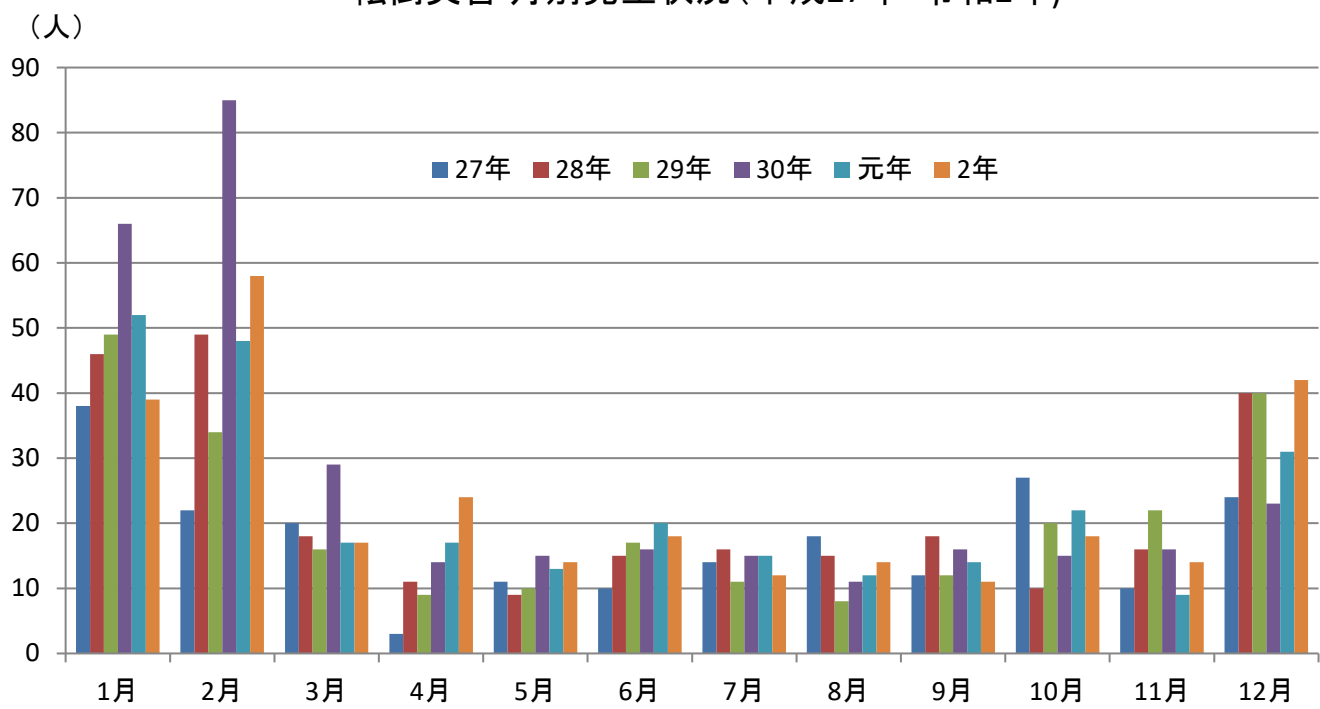
1. 一般社団法人秋田県労働基準協会
2. 建設業労働災害防止協会秋田県支部
3. 林業・木材製造業労働災害防止協会秋田県支部
4. 県上労働災害防止協会秋田県支部

※ 下線部をクリックすると PDF データが確認できます。適宜ダウンロードしてご使用下さい。

転倒災害発生推移(平成25年～令和2年)



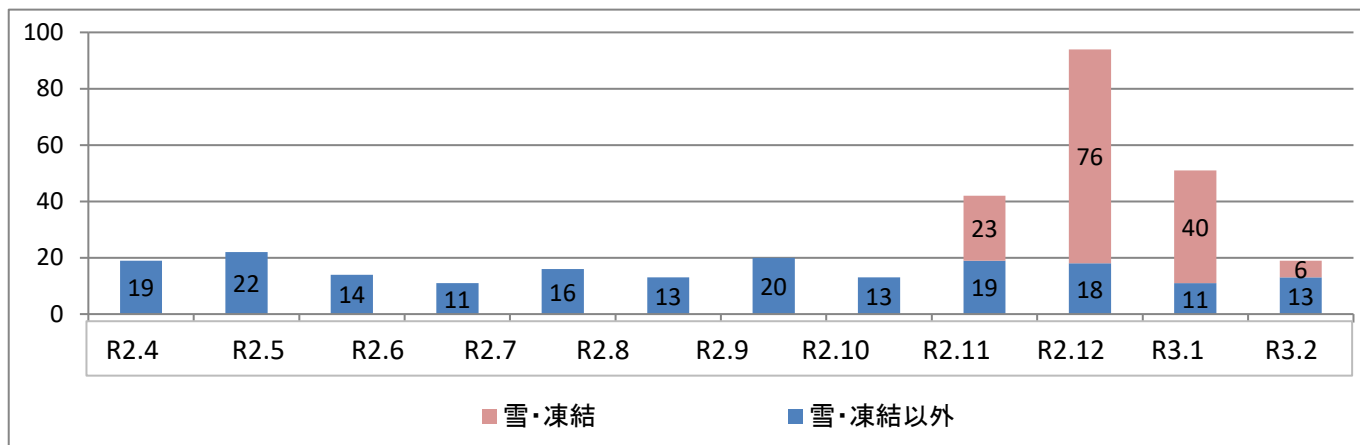
転倒災害 月別発生状況(平成27年~令和2年)



月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
27年	38	22	20	3	11	10	14	18	12	27	10	24	209
28年	46	49	18	11	9	15	16	15	18	10	16	40	263
29年	49	34	16	9	10	17	11	8	12	20	22	40	248
30年	66	85	29	14	15	16	15	11	16	15	16	23	321
元年	52	48	17	17	13	20	15	12	14	22	9	31	270
2年	39	58	17	24	14	18	12	14	11	18	14	42	281

令和２年度 転倒災害 月別・原因別発生状況

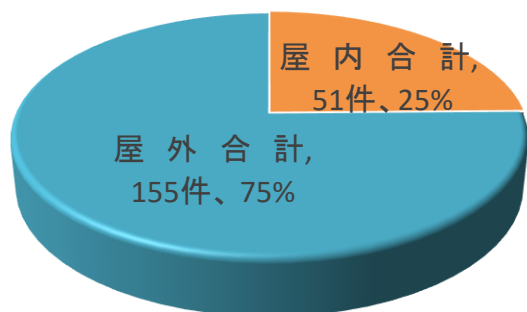
発生年月	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	合計
転倒災害計	24	14	18	12	14	11	18	14	42	94	51	19	331
雪・凍結以外	19	22	14	11	16	13	20	13	19	18	11	13	186
雪・凍結									23	76	40	6	145



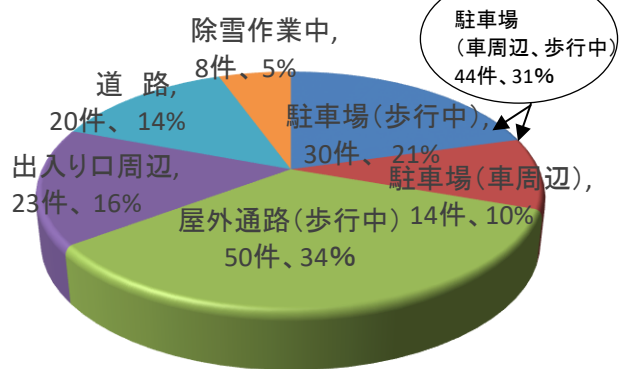
令和２年度 転倒災害 発生場所の内訳

発生年月	令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	令和3年3月	合計
屋内合計	15	17	11	8	51
屋外合計	27	77	40	11	155
雪・凍結原因	23	76	40	6	145
駐車場(歩行中)	7	16	7	0	30
駐車場(車周辺)	0	5	9	0	14
屋外通路(歩行中)	5	32	10	3	50
出入り口周辺	3	11	7	2	23
道路	7	6	6	1	20
除雪作業中	1	6	1	0	8
雪・凍結原因以外	4	1	0	5	10
転倒災害全体	42	94	51	19	206

屋内・屋外別 冬季転倒災害
(令和2年12月～令和3年3月)



屋外における発生場所別冬季転倒災害
(雪・凍結原因のもの,145件)
(令和2年12月～令和3年3月)

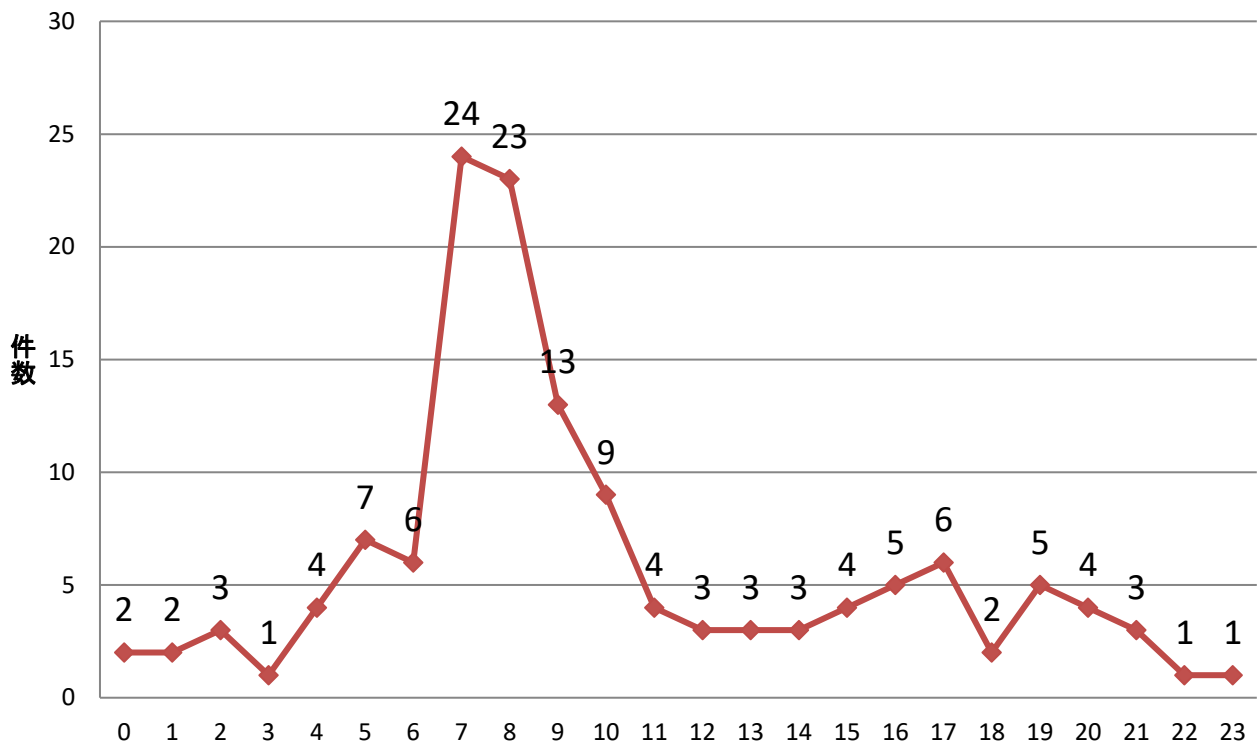


雪・凍結原因以外の災害(10件)を除く

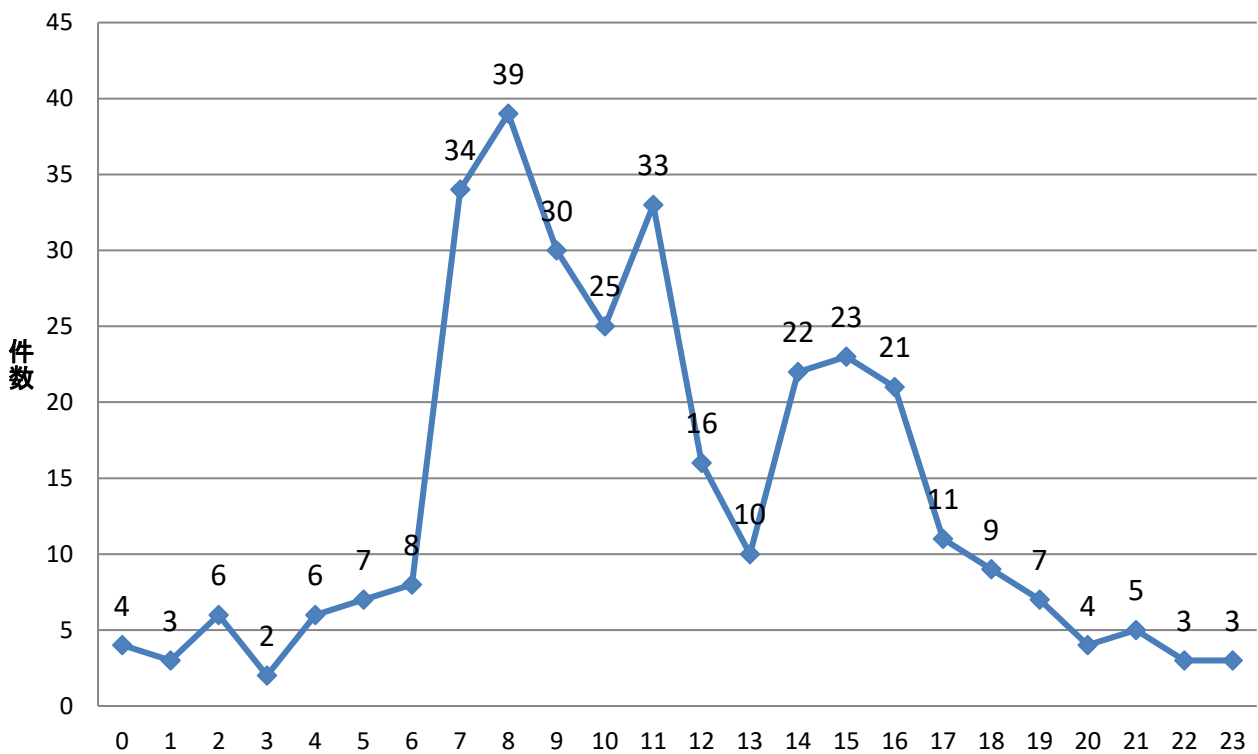
※上記円グラフは、令和2年12月～令和3年3月までに発生した転倒災害をそれぞれ分類した円グラフになります。左側は発生場所を表しており、右側は転倒災害時の作業内容等を表しております。冬期間は屋外の敷地内通路を歩行中に転倒している事例が最も多くなっております。

転倒災害発生時間帯別統計

雪・凍結による転倒災害の発生時間帯
(令和2年12月～3年3月)

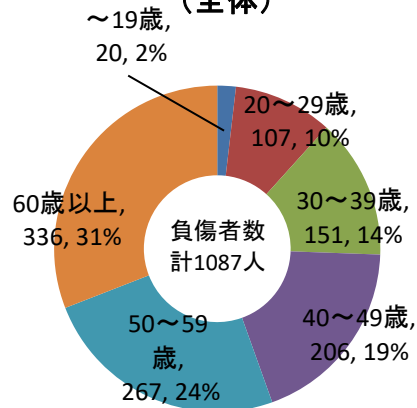


全ての転倒災害の発生時間帯
(令和2年4月～3年3月)

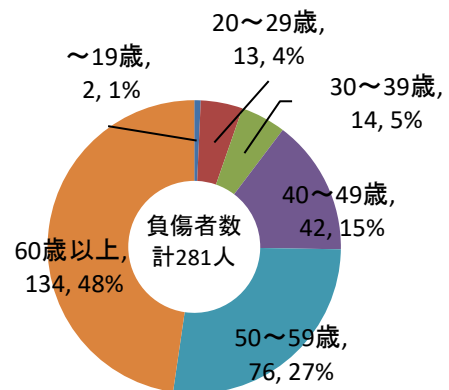


令和2年 各種転倒災害グラフ一覧

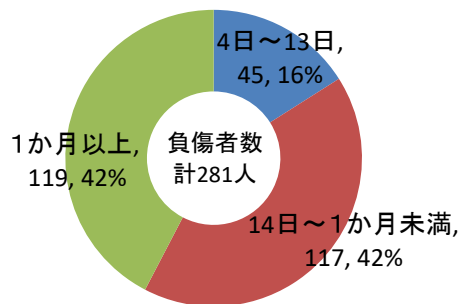
①令和2年 年齢別被災状況
(全体)



②令和2年 年齢別被災状況
(転倒災害)

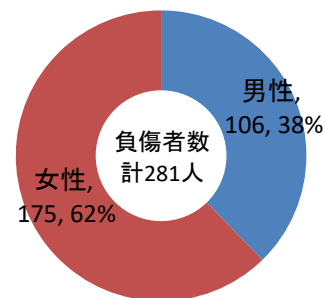


③令和2年 休業期間別発生状況
(転倒災害)

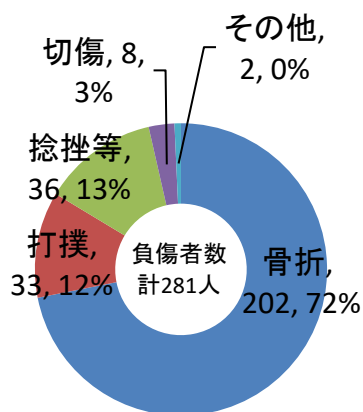


平均休業日数39.8日

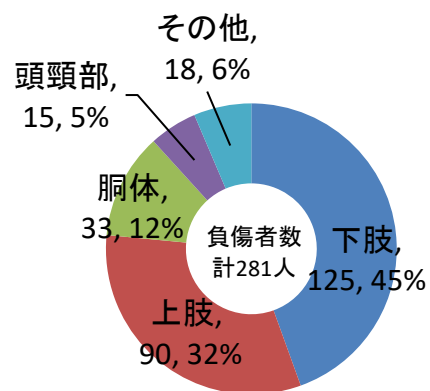
④令和2年 男女別被災状況
(転倒災害)



⑤令和2年 傷病性質別被災状況
(転倒災害)



⑥令和2年 傷病部位別被災状況
(転倒災害)



平成25年～令和2年 事故の型（転倒）・業種別発生状況

秋 田 労 働 局

業 種		転 倒 災 害								全 体 件 数								災 害 比 率（％）							
		2年	1年	30年	29年	28年	27年	26年	25年	2年	1年	30年	29年	28年	27年	26年	25年	2年	1年	30年	29年	28年	27年	26年	25年
製 造 業		43	45	57	42	33	33	41	48	191 (1)	219	247 (1)	201 (2)	193 (2)	183 (2)	203	208 (3)	22.5%	20.5%	23.1%	20.9%	17.1%	18.0%	20.2%	23.1%
	食料品製造業	16	16	20	11	9	12	12	7	52 (1)	58	60	52	46	45	54	45 (1)	30.8%	27.6%	33.3%	21.2%	19.6%	26.7%	22.2%	15.6%
	木材・木製品・家具・装備品製造業	3	4	7	6	4	7	5	7	33	36	54 (1)	44	47	36 (1)	43	39 (1)	9.1%	11.1%	13.0%	13.6%	8.5%	19.4%	11.6%	17.9%
	鉄鋼・非鉄・金属製品製造業	4	4	5	3	6	5	5	13	33	30	29	38 (1)	31	39	33	44 (1)	12.1%	13.3%	17.2%	7.9%	19.4%	12.8%	15.2%	29.5%
	一般・輸送用機械器具製造業	4	2	2	5	1	1	2	3	14	19	23	18	17 (2)	15	17	17	28.6%	10.5%	8.7%	27.8%	5.9%	6.7%	11.8%	17.6%
	電気機械器具製造業	4	4	6	6	5		3	3	7	13	15	12	13	7	8	8	57.1%	30.8%	40.0%	50.0%	38.5%	0.0%	37.5%	37.5%
	その他の製造業	12	15	17	11	8	8	14	15	52	63	66	37 (1)	39	41 (1)	48	55	23.1%	23.8%	25.8%	29.7%	20.5%	19.5%	29.2%	27.3%
鉱 業（鉱安法適用除く）		0	1					1		2	6	5	2	2	3	6 (1)	5 (1)	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	#VALUE!
建 設 業		26	24	23	14	21	21	20	16	200 (2)	209 (1)	217 (7)	199 (6)	190 (5)	203 (11)	248 (5)	229 (13)	13.0%	11.5%	10.6%	7.0%	11.1%	10.3%	8.1%	7.0%
	土木工事業	13	11	8	7	8	8	7	8	78 (1)	68	65 (1)	60 (2)	50 (2)	76 (5)	68 (1)	85 (9)	16.7%	16.2%	12.3%	11.7%	16.0%	10.5%	10.3%	9.4%
	建築工事業	11	10	14	7	13	11	11	7	101	115	131 (4)	115 (2)	116 (2)	115 (6)	154 (3)	123 (3)	10.9%	8.7%	10.7%	6.1%	11.2%	9.6%	7.1%	5.7%
	鉄骨・鉄筋家屋建築	2	2	3	3	4	5	4		16	26	21	21 (1)	22	24 (1)	24 (1)	21 (2)	12.5%	7.7%	14.3%	14.3%	18.2%	20.8%	16.7%	#VALUE!
	木造家屋建築	7	7	10	3	5	5	6	4	63	70	89 (3)	77 (1)	71 (2)	78 (5)	91 (2)	66 (1)	11.1%	10.0%	11.2%	3.9%	7.0%	6.4%	6.6%	6.1%
	その他の建設業	2	3	1			2	2	1	21 (1)	26 (1)	21 (2)	24 (2)	24	12	26 (1)	21 (1)	9.5%	11.5%	4.8%	0.0%	0.0%	16.7%	7.7%	4.8%
運 輸 交 通 業		18	14	30	15	18	9	18	10	94 (1)	93 (1)	127	82 (1)	97	80 (1)	100	78 (1)	19.1%	15.1%	23.6%	18.3%	18.6%	11.3%	18.0%	12.8%
	道路貨物運送業	11	8	20	12	9	5	10	6	84	81 (1)	110	71	79	68	83	66 (1)	13.1%	9.9%	18.2%	16.9%	11.4%	7.4%	12.0%	9.1%
貨 物 取 扱 業		0				1				0	1		1	1	3	1	2	#DIV/0!	0.0%	#DIV/0!	0.0%	100.0%	0.0%	#VALUE!	#VALUE!
林 業		2	2	6	2	4	6	2		39 (3)	41	39 (3)	34 (1)	40 (1)	46 (1)	38	38 (3)	5.1%	4.9%	15.4%	5.9%	10.0%	13.0%	5.3%	#VALUE!
商 業		72	85	84	62	73	54	53	67	196	194 (2)	199	146	175 (3)	149	156 (1)	160 (1)	36.7%	43.8%	42.2%	42.5%	41.7%	36.2%	34.0%	41.9%
保 健 衛 生 業		51	43	55	48	55	30	38	42	144	126	127	120	117	101	110	96	35.4%	34.1%	43.3%	40.0%	47.0%	29.7%	34.5%	43.8%
接 客 娛 楽 業		23	12	27	22	21	25	20	20	60	51	64	47	50 1	56	44	55	38.3%	23.5%	42.2%	46.8%	42.0%	44.6%	45.5%	36.4%
清 掃 ・ と 畜 業		18	11	17	19	16	9	6	14	51	37	46 (1)	52	45	38	35 (1)	46	35.3%	29.7%	37.0%	36.5%	35.6%	23.7%	17.1%	30.4%
上 記 以 外 の 事 業		28	33	22	24	21	22	25	24	110	111 (1)	95 (1)	81	74	73 2	78	89	25.5%	29.7%	23.2%	29.6%	28.4%	30.1%	32.1%	27.0%
合 計		281	270	321	248	263	209	224	241	1087 (7)	1088 (5)	1166 (13)	965 (10)	984 (12)	935 (19)	1019 (8)	1006 (22)	25.9%	24.8%	27.5%	25.7%	26.7%	22.4%	22.0%	24.0%

（注） 労働者死傷病報告（休業４日以上）を集計したもの。（ ）は死亡内数。